

8/7木

[プレトーク]

18:20~18:40

話=太田 弦

※本公演と同じお席でお楽しみください。

[開 演] 19:00

[終演予定] 21:00

※本公演は、NHK-FMの収録がございます。

ご来場“サマー”限定イベント
「お楽しみ抽選会」
を開催!オーケストラゆかりの景品を
ご用意しています。
休憩・終演時にホール1階
「主催者受付」にて当選番号
を掲示します。
ぜひご確認ください♪

出演

指揮：太田 弦(九州交響楽団 首席指揮者)

Gen Ohta (The Kyushu Symphony Orchestra Principal Conductor), *Conductor*

ソプラノ：高野百合絵*

Yurie Takano, *Soprano*

コンサートマスター：西本幸弘

Yukihiro Nishimoto, *Concertmaster*

曲目

小出稚子：博多ラプソディ

〔12分〕

Noriko Koide: Hakata Rhapsody

ビゼー：歌劇『カルメン』から*

〔15分〕

Bizet: Excerpts from Opera "Carmen"

第1幕への前奏曲 — ハバネラ — セギディーリャー

第2幕への間奏曲(アルカラの竜騎兵) — ジブシーの歌

— 休憩〔20分〕 —

ショスタコーヴィチ：交響曲第5番 二短調 op. 47

〔45分〕

Shostakovich: Symphony No. 5 in d minor, op. 47

第1楽章 モデラート — アレグロ・ノン・トロppo

第2楽章 アレグレット

第3楽章 ラルゴ

第4楽章 アレグロ・ノン・トロppo

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する
電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまいく
ださい。時計のアラーム・時報などは設定の解除を
お願いいたします。ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが
正しく装着されていることをご確認ください。演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の
公演です。ご自分の席でお聴きください。許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断り
いたします(カーテンコール時を除く)。演奏中に音が出ないように十分ご注意ください
(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際
の音・プログラムをめくる音など)。

演奏中の会話はお控えください。

演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を
十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援
をお送りください。

客席内での飲食はご遠慮ください。

館内では咳エチケット・適切な手指消毒を
推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

20世紀交響曲芸術の昇華を

文||奥田佳道

祭りを言祝ぐ佳品、妖しくも烈しい調べが舞う歌劇

博多の祭りに想いを寄せた佳品

小出稚子 (1982 ~) : 博多ラプソディ

九州交響楽団の委嘱で書かれ、コロナ禍後初のコンサートとなった2020年7月の第387回定期演奏会(指揮:鈴木優人)で初演。2024年11月の太田弦指揮第426回定期でも再演された佳品を聴く。

小出稚子の音楽への関心が高まっている。今春もエリム・チャン指揮ハンブルクのNDRエルプフィルが、オーケストラのための「揺籠と糸引き雨」(英BBC Radio3の委嘱作品、2022年にBBC響が初演)を奏でたばかり。

東京音楽大学、アムステルダム、デン・ハーグの王立音楽院で学んだ小出は、インドネシア国立芸術大学スラカルタ校(中部ジャワ州スラカルタ市)でジャワ・ガムランの演奏と理論も会得。2023年には名古屋フィルの第4代コンポーザー・イン・レジデンスにも迎えられた。

2020年夏の初演後、何度も演奏されている「博多ラプソディ」は、福岡・博多を代表する祭り「博多どんたく」と、神事(祇園祭)でもある「博多祇園山笠」に想いを寄せた、思わずほほ緩む佳品で、“博多祝いめでた”“博多手一本”、それに民謡“ぼんちかわいや”の調べも舞う。

自由奔放なカルメンをめぐる人間ドラマ

ジョルジュ・ビゼー (1838 ~ 1875) : 歌劇『カルメン』から

時空を超えて愛されている『カルメン』は1875年春にパリ、オペラ・コミック座で初演、同年秋にウィーン宮廷歌劇場で上演されたヴァージョンで広まった。舞台は南欧スペインのセビリア。

恋も人生も自由奔放な女カルメン。そんな移り気な彼女に翻弄される伍長ドン・ホセ。彼のフィアンセで純な想いを抱くミカエラ。花形闘牛士エスカミーリョ。それにジプシーたちが愛、欲、嫉妬にまみれたドラマを繰り広げる。

ハバナはキューバのハバナ(ラ・アバーナ)で生まれ、パリ音楽界を席卷した舞曲。付点音符を交えた妖艶なハバナ(恋は野の鳥)に導かれ、さあ魔性の女カルメン登場だ。ドン・ホセを誘うセギディーリャはスペイン・アンダルシア地方の3拍子の舞曲で書かれた。

第2幕への間奏曲(アルカラの竜騎兵)は木管の見せ場。次第にテンポアップするジプシーの歌も歌と踊りの旋風に身を任せたカルメンの生き様を映し出す。

逆境のなかで書かれたドラマティックな交響曲

ドミトリー・ショスタコーヴィチ (1906 ~ 1975) : 交響曲第5番

1936年1月下旬、ソヴィエト連邦(1922年から1991年まで存在した社会主義国家)共産党の機関紙「プラウダ」に掲載された無署名の記事が、ショスタコーヴィチ若き日のオペラやバレエを痛烈に批判した。書き手が誰であれ、これは当時のソヴィエト最高指導者スターリンの意向となる。従わない場合、命の保障はない。

芸術家・文化人への粛清の嵐が吹き荒れるなか、ショスタコーヴィチは自身の前衛芸術、表現主義の総決算たる烈しい交響曲第4番 八短調 op.43(3楽章形式で演奏時間およそ1時間、最後はチェレスタの響きとともに消えゆく)を、1936年暮れの初演に向けてのリハーサルの段階で撤回。いや撤回を余儀なくされた。

そしてしばしの沈黙の時期を経て、名誉を挽回する!? 手段に打って出る。それが、ピアノやチェレスタ、打楽器は“いつものように”活躍するものの、古典的なフォーマットをもつ交響曲第5番だった。

第1楽章に織り込まれた『カルメン』のアリア「恋は野の鳥」の愛の動機や、最終第4楽章のコーダ(終結部)で執ように繰り返される「ラ」音(ロシア語ではリャ音、ya=私に通じる)を、ショスタコーヴィチはどんな想いで書いたのだろうか。

二短調から二長調への転換、ドラマティックな構築も鮮やかな交響曲第5番は、1937年11月21日にレニングラード(現在のサンクトペテルブルク)で開催された「十月革命20周年記念 祝賀コンサート」で初演された。

タクトを執ったのは当時34歳のエフゲニー・ムラヴィンスキー(1903~1988)である。

細分化された弦楽も主役を演じる第3楽章では、マーラー『大地の歌』や、ロシア正教聖歌のレクイエム「パニヒダ」の響きも、ほのめかされる。シロフォン(木琴)の固く鋭い音色のほか、粛清への怒り、憤りを込めたかのようなコントラバスのパートソロが衝撃的。やがてチェレスタ、ハーブが天上の調べを紡ぐ。

第1楽章 モデラート — アレグロ・ノン・トロppo

第2楽章 アレグレット

第3楽章 ラルゴ

第4楽章 アレグロ・ノン・トロppo

コンサートホールと周辺探訪

都市と自然の魅力が詰まった コンパクトシティ福岡のコンサートホール アクロス福岡シンフォニーホール

●観てよし住んでよしの福岡市

福岡市は福岡県の県庁所在地であり、九州最大の政令指定都市で、都市と自然の魅力が詰まったコンパクトシティとしても知られています。九州の政治、経済、文化の中心であり、エネルギーな都市です。そして福岡の人は、人情があり郷土愛がとても強いです。

福岡市は観光地としてはもちろん、住みたい街ランキングの上位にも選ばれています。また、歴史的なスポットも多く、福岡城跡や博多旧市街では古き良き福岡の歴史に触れることができるのも魅力の一つ。はこぎまぐら くした 筥崎宮や櫛田神社など1000年以上の歴史を持つ寺院や神社もあり、伝統的な行事も多く開催されています。

そして特筆すべきは、何を食べても美味しい!! スーパーで買うお惣菜も野菜も驚くほど安くて美味しいのです。明太子、もつ鍋、水炊き、イカ刺し、ゴマ鯖、とんこつラーメン、焼き鳥、餃子、パンやスイーツ、風物詩でもある屋台! あげたらきりがありません。



アクロス福岡 外観 空撮
©ACROS Fukuoka

アクロス福岡シンフォニーホール 内観
©ACROS Fukuoka

●駅直結で暖かな響きに包まれるホールへ

地下鉄で福岡空港から20分、博多駅から5分の活気あふれる「天神」から地下道で直結、九響ホームグラウンドのアクロス福岡シンフォニーホールがあります。色んな意味で最高の立地にあるアクロスは、とても響きが良く暖かな音がします。ナイスサウンド! と、多くの国内外のアーティストが絶賛します。客席数は1800席強とコンサートホールとしてはベストと思われるアクロスでの九響の定期演奏会や主催公演には、関東や関西等、遠方から多くのお客様もご来場くださいます。

観光、ショッピング、九響、そして美味しいお酒もお食事も待っています。皆様、どうぞ福岡に、そして九響に足をお運びください。心よりお待ち申し上げます。
(九州交響楽団 音楽主幹 渡辺 克)

■出演者プロフィール



©勝村祐紀

指揮：太田 弦 Gen Ohta, Conductor

東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講。これまでに読売日響、東響、東京フィル、札響、群響、名古屋フィル、大阪フィル、大阪響などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者。2023年4月より仙台フィル指揮者に、2024年4月より九響首席指揮者に就任。2021年2月、オクタヴィア・レコードより交響曲第8(9)番 ハ長調 D944『ザ・グレイト』(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言明けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる『グレイト』が聴衆の話題をさらった。2025年、第23回齋藤秀雄メモリアル基金賞(指揮部門)を歴代最年少で受賞。



©Takayuki Abe

ソプラノ：高野百合絵 Yurie Takano, Soprano

東京音楽大学、及び大学院を首席で修了。選抜高校野球大会開会式での国歌独唱、現上皇皇后両陛下御臨席のもと御前演奏の他、「サントリー1万人の第九」「マイ受難曲」「テレジア・ミサ」「夏の夜の夢」「三角帽子」などのソリスト、ジルヴェスター、ニューイヤーコンサートなどで主要オーケストラとの共演や各地でのリサイタルが好評を博している。オペラでは、NISSAY OPERA 2018『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ役、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021『メリー・ウィドウ』ハンナ・グラヴァリ役、同オペラ2023『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ役、2024『蝶々夫人』題名役で喝采を浴びた。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXX子どものためのオペラ『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ役、東大阪市民オペラ『カルメン』題名役で絶賛される。デビューアルバム『CANTARES』、2ndアルバム『Cantar del Alma／魂の歌』を日本コロムビアよりリリース。

■オーケストラ・プロフィール

九州交響楽団 The Kyushu Symphony Orchestra



- 【創設】 1953年創立。九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。
- 【指揮者】 太田 弦(首席指揮者)、篠崎史紀(ミュージックアドバイザー)、小泉和裕(終身名誉音楽監督)、小林研一郎(名誉客演指揮者)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 アクロス福岡シンフォニーホール
- 【楽団ウェブサイト】 <https://www.kyukyoro.or.jp/>



サマーミュージック特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージック
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

- ほぼ日刊サマーミュージックに感想が載るかも?
<https://gws-net.com/summermuza2025/> →



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
 開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージック川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

法人 【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 キヤノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェット株式会社 三井不動産グループ 【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会	公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファブ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケー株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ	セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 びあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎	ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーソリューションズ * 大宮町内会 他3法人 【わくわくミュージック法人サポーター】 稲毛神社 おつけもの慶
個人 阿部孝夫 遠藤智和 小笠原 将 金山直樹 国府保周 佐藤義寛 高井延幸 西 洋子 藤嶋とみ子 山下啓史 N.A 新井智彦 大越麻美子 岡田 元 喜多紘一 後藤 実 新保和浩 高橋美子 西山英昭 堀江智巳 山田昌克 T.Y 市橋信一郎 大須賀徳也 岡野 功 木伏源太 小林知子 杉山弘子 竹内啓介 長谷川喜代江 前田 泉 D.Y 井上敏昭 大塚具幸 小倉ヒロ・ミハエル 久住映子 佐伯 昇 鈴木甚郎 都築 豊 林 直人 松嶋邦生 K.O 宇佐美清一 岡垣克則 小野洋彰 小菅みつほ 佐藤晴茂 鈴木 徹 中村紀美子 廣瀬治昇 山内利夫 M.C 他匿名16名 敬称略五十音順			

ミュージック川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。